

# オスカー・シュレンマー 「今日の芸術状況について」<sup>1)</sup>

Oskar Schlemmer, « Zur Lage heutiger Kunst » (1932)

出来事は前もってその影を投げかけると言われ、戦前に突如現れた表現主義では、戦争は、それ自体として絵画に描かれることなく、予告されていたと言われた。実りのない自然主義や、エーテルのように霧散した印象主義へのその当時の反応であったものが、破壊と構築が相互に入り乱れて、混同されもした故に、同時に強力な運動をも意味した。なぜなら、「ハウス・デア・クンスト〔芸術の家〕」の総浄化は、芸術の絶対的価値をまたもや明るみに出したからだ。すなわち芸術の境界の注意深い探究、あるいはむしろ大胆な越境は、その試みが新境地であると同時に脅威でもあることを知らしめた。この現象はドラマティックな進展を遂げた。突然絶頂への上昇を経過して、その必然として、この場合衰退ではなく、逸脱した。時代の中にいる人間、とりわけ現在のように動いている時代の中にいる人間には、そのような経過曲線を明瞭にみてとることは不可能だろう。歴史家は明白に見える過去から採択した尺度を用いるが、しかしその尺度は複雑に現れる現在には適合しない。芸術家、創造的な人間はただ、内的必然性が命じることができただけだ。芸術家は精神的な潮流の一部であり、どこへそれが押し流され、流れ込んでいくのかはわからない。

そういうわけで現代の芸術は、一方では、勢いや新しく設定された目標もない、うんざりするほどありきたりなものを始終繰り返す無気力の徴候を示している。他方、ひょっとしたら現代の不確実性の帰結として、むしろ理論上でだが、少なくとも芸術表現領域においてカオスから逃れる道を示すことの、あるいはもしそうなった時、変革の狼煙としてありつづけることの、熱狂的なデモにとりかかっている。なぜなら、もし芸術家が、個性礼賛の意味での自己表現を脱却して、個人を越えるものや一般的なもの念頭におけば、カオスから逃れる道を示すことが芸術家の信念に違いないからだ！

時代の混乱は芸術の概念をも混乱させている。政治的に興奮した時代は、芸術作品に一定の傾向を探し求め、政治的な事柄への奉仕を要請するが、一方で、自由はま

さに芸術家の基本的な立場であり、特権でなければならぬのだ。ロシア革命は、表現主義から生じたあらゆる要素を自由にし、喜ばしい勝利へと導くように見えた。つまり、偉大な形式と簡潔な色彩である。形式と色彩の喜びは、さまざまな形式と色彩での遊戯となり、それゆえ容易に唯美主義へと誘われるが、抽象的なものや非政治的なものに横たわるこの危険は回避されなければならなかった。その結果は、手本に捉われて、手本に対して単に旗の色を変えただけの芸術的に些末な風俗画である。権利を得た形式と色彩は、国家宣伝やプロパガンダの展示や、舞台装置に逃避した。しかし造形的壮大さの偉大な形式は、今日までロシアには果たされないままの負債となっているのだが、それは奇妙なことに思える。なぜなら偉大な形式は、民族意識の統一や倫理的な基盤という、造形創作の重要な前提を満たしているように思えるからだ。

ひとつ確かなのは、時代感覚や大衆の直観から生じた芸術作品も、創造的造形の自由の途上でのみ生じうることだ。美を破壊するという観点からのコローの言葉には深い含意がある。いかなる綱領も、意識の美の綱領であっても、真正なものである無意識の美の成立を危うくするか妨げるのである。あるいは、我々は形式を充足させ、芸術作品をそこから救い出すように素材に結びついた内容を、うまく制御することを忘れていただけなのか？ というのも、芸術の有用性が高度な様式で成功した結果、ますます素材から生じなくなった場合でも自立的に維持されてきたことは、祭祀や宗教と結びついた過去の無数の例が示している。この結びつきが今日の芸術家には欠けている。芸術家は冷やかな関係性のない現在に晒され、共感やひとつの社会階層に支えられているという感覚なしに、孤立しているように感じている。階層はごく少数の個人につきるのではないのだ。事実、時代のイメージと未来の時代イメージを作り出す番であったはずの世代は、運命の打撃によってひどく苦しんでいる。一番よい時代を、彼らは戦争で犠牲にしたのだ。戦後の時代、見せかけの繁栄と現在は、疑わしい成果を

1) [訳注] 翻訳に際しては、以下を底本とした。Oskar Schlemmer, «Zur Lage heutiger Kunst» veröffentlicht in *Schlesische Monatshefte*, 1932, 9. Jg. H.4, pp. 124-128 (Bibl. H II 35), in Wulf Herzogenrath, *Oskar Schlemmer: die Wandgestaltung der neuen Architektur*, München: Prestel, 1973, pp. 189-190.

疑わしくなった納屋にもちこむにはふさわしくなかった。より幸福な時代には平穩無事に成熟できるはずのことが、この世代にとっては稲妻と雷鳴の下に投げ出されなければならない。それゆえこの世代の芸術に、より良い時代に対しては当然であった要求をすることは、不公正である。ただし、我々生きている者が、なだめられた存在という薔薇の上にそっと横たえられているのではない事実を、究極の図太さをかき集めて有効活用することができ、泥や火もいとわず作品を生み出すのであれば話は別だ。

今日、全てが揺らぎ、芸術における法則も、現在生じている芸術に関する判断もそれと共に揺らぎ不安定なので、時によっては「何をやってもかまわない」状態になる。最近のフランス芸術には、20年前のベルリンの『シュトルム』展同様、究極の表現方法への新たな問い直しがなされているようである。その際、定式化は時に最新の芸術的洗練に転がり込んでいるように見える。ピカソの大胆さは、ただ変えることができるだけで、凌駕することはできないようである。イタリア人の場合には、かつての未来派から離れて、今日では快適な生活感や擬古典的な問題が決定的であり、ドイツ人の場合は、現象の多様性からエルンストによってなされたような構成された構造を求めての努力が目立ち、多かれ少なかれ形而上学的推論の遺産に強く取りつかれている。自分自身についてよく考え、奇抜さや外面的な形式に背を向ける最近のドイツ人は、意識的にあるいは無意識的に、1800年頃のゲーテの時代にそれ以前より強く形式化され命令にまで高められた昔の芸術法則へ接近している。例えば、芸術の種類を自然の模倣、作風、様式とその定義に分けることは、これらの概念は一般に通用し時間を超越しているのだから、今日でもなおまったく通用するはずなのである。もし今日の芸術を判断する際、この尺度がただいくらか考慮に入れられ用いられさえしていれば、あまりにも大まかな今日蔓延している誤解を解消する補助手段となるだろうに。そして様式を得ようとする作品において、その努力は必然的に様式を強めるために犠牲を伴うことになるが、自然を模倣する要請がなされることはないだろう。この自然を模倣する要請は、立証・論証可能な救済が見出されるように思える最後の避難所である。同様に、作風の徴候を理解することは、様式的な領域同様自然を模倣する領域でも、その本質を捉えて説明的に働くことはありうる。高度な芸術形式、すなわち様式の作品に、高まる努力にふさわしい敬意が初めから払われればこの時代にふさわしいだろう。この時代では政治的な舞台における様々な意見のカオスと対立

が国家構成体の形で救済されることが試みられている。従って芸術家の努力に関しては、もちろんまったく別の規準と領域への照応が作られる。

今日そのようなことで苦心する芸術家は少ない。精神的に捉えようとする範囲だけではなく、そこに至る道程の構造においても、自分の創作に統一性を与えようとする人はわずかである。時代遅れに見えるかもしれないが、我々現代人がフィリップ・オットー・ルンゲの手紙と日記を読んで、「芸術作品の必要条件」として理解したのが以下である。

1. 神についての我々の予感。
2. 全体との関係における我々自身の感覚と、我々と全体の両方に基づく感覚。
3. 宗教と芸術。それは言葉や音や絵によって我々の最も高度な感覚が表現されることである。そこで求められるのはまずは絵画芸術である。
4. 対象。さらに
5. 構成、
6. デッサン、
7. 配色、
8. 釣り合い、
9. 彩色効果、
10. 色調。

今日の芸術に当てはまるこれらの「必要条件」は、なるほどそのようなプランの個別の部分に対応しており、部分々々はしばしば一面的に駆り立てられ、しばしばただある部分を誇張することもあるが、しかしその統一性が実現することはごく稀であることを示している。ルンゲはロマン主義者で真のドイツ人であり、芸術作品の前提や個人を超越した形式を得ようとする情熱的に取組んだ。手紙や日記の中にこのことが感動的に読み取れるように、現代の混乱において多くの個人に方向性を指し示し、自省を促すだろう。

以上のことで、昔に戻れと言いたいのではなく、前進あるのみだ！と言いたいのである。なぜなら多くの近代人の作品が、30年前の先駆者と同じくらいの結びつきを、3000年前の始祖とは言わずとも、300年前の祖先と持っている（そのような過去の保証こそが近現代人たちに、敢えて新しいことをする承認と力を与えるのだ）のと同様に、今日の芸術家も、理想としては、過去の文化継承者であり、現代のしもべであり、未来にとっての祖先なのだから。

(訳：柴田隆子)